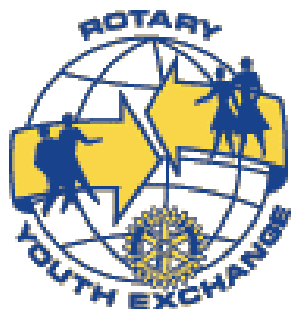


2002-2003年度

青少年交換プログラム マニュアル

【ホストファミリー用】



国際ロータリー第2600地区

青少年交換・ローテックス委員会

1．ホストファミリーとしての基本姿勢

交換学生を家族の一員として迎えます。決してお客様扱いをしないようにお願いします。留学生にとって、皆様は「お父さん」であり、「お母さん」になります。一番必要なのは、留学生を歓迎するという気持ちです。ホームステイの成功の秘訣は、神経質にならないことです。少々のは気にならず、放っておくことが必要です。いつも「自分の子供だったらどうするか」を基本に、決して甘やかさず、愛情を持って育てるという姿勢が大切です。

2．ホスト期間中の費用負担について

留学生にかかる費用のうち、小遣い、通学費、学校の制服・教材費、修学旅行費、1年間の留学生保険、ロータリー行事参加費はホストクラブで負担します。しかし、それ以外の日常の出費はホストファミリーの負担が原則となっています。これはロータリーにおける行為は、自らの意志に基づく奉仕を基本とすること、即ち「ボランティアでホストを努める」ということにあるからです。しかし、現在、当地区にあってはホストファミリーへ毎月、若干の補助金をお渡しすることとしています。これは基本的にホストファミリーへのお礼であり、実費を補償するものではないことをご承知頂きたいと思っております。

3．家族の一員としての義務

各家庭には、それぞれのルールがあると思います。交換学生は家族の一員ですから、当然ながら、そのルールを守らせて下さい。（但し、宗教に関しては決して強制しないで下さい。）自分の身の廻りのことは勿論、家族の手伝いなども積極的にさせます。そうすることによって、日本の習慣も理解できるようになります。男子でも、自分で洗濯・アイロン掛けをする子がいます。

4．来日直後のストレス

来日直後は、習慣の違いに対する戸惑いもあり、言葉も思うように通じない等、かなりのストレスがたまります。こんな時は家族の愛情が必要です。暖かい雰囲気でご包んであげてください。

5．食事の保証

三食をホストファミリーの責任において与えて下さい。学校での昼食の場合、弁当を持たせるか、そうでない場合は昼食代として ¥500 - を渡して下さい。友人の家などに食事に招待された場合は例外です。

6．食事の内容

ホストファミリーのお母さんが一番気にされることですが、特別な料理を考える必要はありません。普段通りの食事をお願いします。用意した日本食を食べないからといって、心配する必要はありません。最初は食べれない物でも、やがて殆どの日本食を食べるようになり、「日本食大好き！」になります。カレーライス、てんぷらは大好きです。留学生には、すべてのことに、最低3回はチャレンジする事を、オリエンテーションで指導しています。

7. 門限

門限を午後9時と決めて下さい。慣れてきて、「誰かの所は門限がない」「誰かの家は12時までいい」とかいう留学生の言葉に負けないように、毅然とした態度を示して下さい。

8. 地域の交通に関する情報

学校までの道順、自宅周辺、交通機関の利用方法を教えて下さい。当分の間は迷子札を持たせるのも一つの方法です。

9. 緊急災害に備えて

地震・火災等緊急時に備えて、避難場所・避難方法を教えておく必要もあります。

10. 病気や怪我

どんなに健康に自信がある生徒でも、気候、食べ物の違いなどで、ダウンすることもあります。また、海外と日本の交通事情が違いますので、交通事故による怪我も考えられます。いずれの場合でも、事故が発生したら、直ちにロータリークラブのカウンセラーに報告・相談し、治療費は保険でカバーします。

11. ホームシック

ホームシックには程度は別として、誰でも一度は必ずと言っていいほど掛かります。問題はそれを自分の気持ちの中で解決できるか否かです。殆どの子供達はうまく処理しているようですが、もし、それが難しい場合は皆さんの助けが必要になってきます。話し相手になってあげることが一番効果があります。重症な場合はロータリークラブのカウンセラーに相談して下さい。

12. 日本語教育

日本をよく理解する上で、日本語を覚えることは大変重要なことです。ホストファミリーは留学生に日本語を教える先生でもあります。毎日少しずつでもいいですから、正しい日本語を教えてあげてください。

13. 習い事

日本文化を知るための習い事、稽古事は本人の希望があれば習わせます。月謝等については、クラブカウンセラーにご相談ください。

14. 宗教について

毎週日曜に教会へ行くという子は少なくなりましたが、どうしてもという場合は宗派にあった教会を近所に見つけてあげて下さい。

15. プライベートな時間

気を遣いすぎて四六時中、側についてるというのは行き過ぎです。時には手紙を書いたり、本を読んだり、或いは一人で散歩をしたりするようなプライベートタイムを大切にしてください。

16. 留学生のホームステイ先での過ごし方

留学生には夕食後、出来るだけ家族と一緒に過ごすよう指導してあります。また、英字新聞は必要ありません。テレビの映画番組等も2カ国語放送の日本語で見るとよいをお願いします。

17. スケジュールの調整

最初のうちは何もわからなかった彼らもやがて自分の時間を作る余裕がでてきます。学校が休みの日には、自分自身で友達と出かける約束をするようになります。

ホストファミリーの皆さんが折角どこかに連れていく計画を立てても、彼ら独自のスケジュールと重なる場合も出てきます。前もって、スケジュールの打合わせをして下さい。ホストクラブ/来日学生のためのオリエンテーションの時に前もって行事予定表をお渡ししています。地区、ROTEX等の行事の日程を確認してオリエンテーション及び地区行事に欠席する事のないように、本人のスケジュール調整を指導して下さい。

18. ロータリークラブの例会・講演会

ロータリークラブの例会に出席することや、その他の団体で講演することは、交換学生にとっては、親善使節という意味でも大切な義務の一つです。例えば皆さんの親戚を招いてのミニ講演会、或いは町内会、婦人会、子供会、近所の小中学校等、あらゆる団体で講演させる機会を与えて下さい。

19. 小遣い

留学生本人には、月額10,000円が小遣いとして各ホストロータリークラブより支給されます。それ以外のお金はあげないようにして下さい。これは、他のホストファミリーとの兼ね合いもありますので、厳守事項です。

20. 旅行

地区外への旅行はロータリーの許可が必要です、友達だけの泊まりの旅行や特に海外旅行は禁止されています。

21. プレゼント

プレゼントは誕生日、クリスマス時ぐらいで、決して高価な物は贈らないようにお願いします。

22. 国際電話

国内の電話についてはホストファミリーに負担をお願いしていますが、国際電話については本人が負担する決まりになっています。国際電話をかける場合は必ずホストファミリーの許可を受けてから電話をし、向こうからかけ直してもらうか、コレクトコールを利用するように、オリエンテーションにて指導してあります。尚、留学生は最初の3ヶ月間はあまり国際電話をしないように指導しています。

23. 携帯電話

携帯電話、PHSの所持は原則的に禁止します、これは電話代が高価であり又、来日交換学生同士での通話が主になるからです。

今後 カウンセラー、ホストファミリーの皆さんのご意見をお聞きし検討していきます。

24. Internet

ホストファミリーのルール内での利用をしてください。地区委員会よりの連絡もインターネットを利用した E-mailが主になっています、ホストファミリーにインターネット環境が無い場合は 学校のインターネットの利用を勧めてください。

但し チャットの使用は長時間になりますので禁止してください、又 hotmailの様な Web-mailの使用は長時間にならないようルール作りをし利用させてください。

又、母国の年間の教育プログラムを留学先（日本）から受講するといったケースは留学目的に反します。

25. 帰国前の荷物発送

帰国近くになりますと、荷物が山のように増えてきます。帰国一ヶ月くらい前になりましたら、船便で不要な荷物を発送させて下さい。費用は本人負担です。

26. 禁止事項

留学生は次のことが禁止されており、違反内容によっては強制送還されます。

ロータリーの4Dルール。

- 1) 自動車、オートバイ、船舶、飛行機等の運転の禁止。(No Driving)
- 2) 飲酒の禁止。(No Drinking)
- 3) シングルデートの禁止。(No Dating)
- 4) 麻薬、覚醒剤の禁止。(No Drug)

27. 留学生とのトラブル

留学生とホストファミリーには「相性」があります。この相性が合わない場合もあります。ホストファミリーを引受けたから、絶対に最後までやらなければならないという決まりはありません。難しいな、と思ったら遠慮せずにカウンセラーに相談して下さい。解決できない場合は出来るだけ速やかに別なホストファミリーに移します。その他、あらゆることで、ロータリークラブのカウンセラーが相談を受けます。

28. 報告書（マウンスリーレポート）

留学生の一月間の様子を所定の様式に記入し ホストロータリークラブ経由で委員会にご提出ください。

その他の項目には 要望等ご記入ください。

ご質問お問い合わせは下記までどうぞ。

国際ロータリー第2600地区

青少年交換・ローテックス委員会

2002-03年度委員長 小山 陽三（上田東RC）

〒386-0002 上田市住吉397-8

TEL：0268-22-3782

FAX：0268-27-3231

携帯電話：090-3147-2516

E-mail: yozo@koyama.jp